



「腹腔鏡手術について」

腹腔というのはいわゆる「おなかの中」という意味で、「おなかの中」を観察するカメラが腹腔鏡です。「おなかの中」の映像をテレビモニターで見ながら行う手術のことを腹腔鏡手術といいます。

腹腔鏡手術は、1987年に腹腔鏡下胆嚢摘出術がフランスで行われたのが最初とされています。腹腔鏡下胆嚢摘出術は、「おなかを切る手術」(開腹手術)に比べると、キズが小さく、痛みが少ないため、世界中に急速に普及しました。そ

の後、技術の向上や、手術器具の進歩により、さらに高度な手術が可能となりました。

外科では、胆嚢・胆管結石、急性虫垂炎、上部消化管穿孔、鼠径ヘルニア、大腸がん、直腸がん、早期胃がんなどが腹腔鏡手術の対象です。肝腫瘍や膵疾患でも、最近では腹腔鏡手術が増えています。

腹腔鏡手術では、おなかに1cmくらいの穴を4〜5ヶ所あけ、「おなかの中」を炭酸ガスで膨らませます。おなかにあけた穴から、カメ

ラや、電気メス、鉗子(かんし)という細いマジックハンドのような器具を入れて、手術を行います。カメラを使うので、細い血管などが拡大されてよく見えます。このため、腹腔鏡手術では出血量が少なくなりました。

腹腔鏡手術の良いところは、①キズが小さい、②痛みが少ない、③食事の開始が早い、④術後の癒着が少なく、腸閉塞になりづらい、⑤入院期間が短い、などです。欠点は、開腹手術に比べると、やや難易度が高く、手術時間が長くなることです。また、大出血があると、腹腔鏡手術では止めることが難しく、開腹手術に切り替える必要があります。

全ての手術が腹腔鏡手術で行えるわけではありません。疾患の状態によっては、開腹手術の方がよいという場合もあります。腹腔鏡手術が行えるかどうかは、担当医師との相談が必要です。

函館中央病院

外科

橋田 秀明

医長

【略歴】

平成7年、北海道大学医学部卒業後、函館市医師会病院、NTT札幌病院、苫小牧王子総合病院、北海道大学病院、国立函館病院勤務を経て、平成20年より函館中央病院勤務。同年、外科医長に就任。日本外科学会外科専門医。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

診療科目 / 内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目
受付時間 / 8:30~11:30・13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
休診日 / 日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)